

Library

町生涯学習センター図書室からの1月のおすすめ図書

Library Information

図書室からのお知らせ

■本の入荷について

図書室では、新刊本や話題の本など、新しい本が入荷しています。

本のリクエストについても、図書室カウンターにて受け付けています。皆さんの読みたい本や気になる本などありましたら、お知らせください。

また、お探しの本などがありましたら、お気軽にカウンターにご相談ください。

● 図書室の利用や、図書の検索・リクエストなどについてのお問い合わせ先
町生涯学習センター図書室
☎096-234-2447(内線331)

がん宣告を受けた彼と家族の物語

藤岡 陽子 著 / 『きのうのオレンジ』



集英社

小説

33歳の遼賀が受けた胃がん宣告。「どうして自分が…」涙が溢れてきて、恐怖で震えが止まらない。その時、郷里の岡山にいる弟の恭平から荷物が届く。そこに入っていたのは15歳の頃、恭平と山で遭難した時に履いていたオレンジ色の登山靴だった…。家族や周りの人たちの温かな絆が、深く心に染み入る1冊です。

偉人の伝記をまんがで紹介する学習まんがシリーズ

はのまきみ 著 / 『渋沢栄一 明治時代に日本経済の基礎をつくった男』



集英社

児童書

2024年からの新1万円札の顔、渋沢栄一。日本の新しい国の形を考え、多くの人を動いた幕末～明治時代に、経済によって日本の未来を考え、500にのぼる会社に関わり、社会事業にも尽力した「日本資本主義の父」渋沢栄一の人生をまんがで紹介します。まんがだから読みやすく、わかりやすい、おすすめの1冊です。

世間と折り合いをつけるためのヒント

養老 孟司・伊集院 光 著 / 『世間とズレちゃうのはしょうがない』



PHP 研究所

一般書

世間からはじき出されないことを願う理論派・伊集院光と、最初から世間からはみ出している理論超越派・養老孟司が世間との折り合いのつけ方を探ります。それぞれの生き方や人生観、これから先の情報化社会等、多岐にわたって語られる抱腹絶倒の対談から、世間とズレながら生きていくヒントが見つかる1冊です。

野菜料理のレパートリーが広がる1冊

堤 人美 著 / 『野菜はあたたためて食べる!』



新皇出版社

教養娯楽

野菜をあたたかく調理して、野菜のおいしさを引き出すポイントは「オイルで野菜をおいしくする」「だしで野菜をおいしくする」「とろみで野菜をおいしくする」の3つ。この3つのポイントごとに、簡単なのにおいしい野菜レシピを紹介。心も体もほっとする65品で、マンネリになりがちな野菜料理のレパートリーが広がります。

町生涯学習センター図書室のご利用について

■開館時間 午前9時～午後5時 ■休館日 毎週火曜日、年末年始 ■貸出冊数・期間 1人5冊まで、15日間

私 とこの絵本との出会いは、公民館講座の朗読教室でした。図書室の絵本の多さにびっくりしました。そこで新美南吉さんの「ごんぎつね」を手に取りました。古き良き時代の日本を思わせるイラストにひかれました。

兵十が病気の母親のためにとったウナギを、いたずらからついとってしまったキツネのごん。少しで

今月の案内人



甲斐 孝子さん
(下豊内区)

もつぐなおうと、ごんは兵十の軒先に心づくしの贈り物をそっと置いてくるのですが…。

Read This Story!

～ My Favorite Story ～ 私のおすすめ図書

『ごんぎつね』(新美 南吉 著)

兵十が病気の母親のためにとったウナギを、いたずら心から奪ってしまった狐のごん。名作の世界を格調高い絵画で再現した絵本。

ごんの善意に兵十は気付かず、なんと兵十は銃でごんを撃ち殺してしまうのです。

このラストシーンが心に残っています。結末のかなしさはそれぞれの思いではないでしょうか。家族で読んで、皆で語り合うのもいいのではないかと思います。

新美南吉さんの「でんでんむしのかなしみ」や「手袋をかいに」も絵本の奥の深さに、人の

心のやさしさ、思いやりを感じます。

ぜひ、皆さんも絵本にふれあってほしいと思います。

● あなたの「おすすめ図書」をご紹介しますませんか？

町生涯学習センター図書室

☎096-234-2447(内線331)

Public Hall

町公民館からのお知らせ

▶ 町生涯学習センター・ギャラリー
モール展示のお知らせ

パネル展「熊本地震における 被災文化財復旧への支援と現状」

平成28年熊本地震から4年余りが経ち、熊本城や阿蘇神社をはじめとする被災文化財も着実に復旧の歩みを進めています。

県では、地元経済界などからの支援によって進められている被災文化財等の復旧状況について、知っていただくためにパネル展を行います。

ぜひ、ご覧ください。

● **開催期間**

1月12日(火)～22日(金)

● **主催**

熊本県教育庁教育総務局文化課

- 公民館講座や町民大学などに関するお申し込み・お問い合わせ先
町教育委員会公民館事務局
☎096-234-2447(内線321)

スポーツ・健康「フラダンス」講座は、ハワイアンメロディーに合わせて軽やかなステップを踏みながら踊るフラダンスを学ぶ講座です。現在6人が楽しく体を動かしています。ゆっくりとした動きでダンスを練習する参加者の皆さん



▲ ゆっくりとした動きでダンスを練習する参加者の皆さん

スポーツ・健康「レクリエーションダンス」講座では、華やかな衣装で軽やかに踊るレクリエーションダンスを学びます。現在20人が、馴染みの曲に合わせて、楽しみながら練習しています。身体のアプローチを兼ねた動きのダンスです。

町公民館自主講座⑯ 「レクリエーションダンス」

開催日時
第1・2・3水曜日 午後1時～午後3時

開催場所
町生涯学習センター・研修室

講師 有働紘子さん
(熊本市)
開催場所
町生涯学習センター・ホール
開催日時
第1・2・3金曜日 午後1時30分～午後3時30分



▲ 華やかな衣装でダンスを披露する参加者

健康で豊かな生き方を応援するため町公民館が実施する「公民館自主講座」についてご紹介しています。

町公民館自主講座⑯ 「ダンススウィートコナッツ」

くりとした動きでどなたでも無理なく踊ることができ、リラックスできますよ。

講師 富野道子さん
(熊本市)

若々しい先生の姿を見ると、レクリエーションダンスの効果が変わります。美容と健康のために、ダンスをはじめてみてはいかがでしょうか。

Human Rights

人権 ～心豊かに暮らすために～

■ 「自分にできることを考えましょう」

● 次の世代の子どもたちに人権を尊重する心を伝えていきましょう

家庭内での何気ない家族の対話が、子どもの人生に大きな影響を与えられます。同和地区に対する差別意識や偏見は、子どものうちに親など身近な人から聞かされてつくられた場合が多いのです。

大人たちが、子どもたちに誤った知識を教えることなく、相手を尊重する心を持つよう、普段から心掛け、言葉や行動で示していきましょう。

一人ひとりの力は小さなものかも

しませんが、家庭、職場、地域社会などを通して日頃から人権感覚を磨くことが、一人ひとりの生き方や価値観を尊重できる社会の形成につながっていきます。

部落差別が残ってきた原因として、歴史的・社会的な背景などがありますが、どのような背景があるにしても、差別を容認することはできません。端的に言えば、差別をする人の存在がいつまでも同和問題を残しているのです。このことは、同和問題に限らず、すべての人権問題にも共通していることです。

同和問題は、「差別される側」の

問題ではなく、「差別をする側」の問題であり、その中には、自分には関係ないといった無関心であることも含まれます。なぜなら、無関心は結果的に差別の存在を許してしまうことになるからです。

「誰かがなくしてくれる」では差別はなくなりません。「私」自身が差別をなくすためにどう行動するかが大切です。まず、自分にできることから始めましょう。

- **人権に関するお問い合わせ先**
町教育委員会社会教育課
☎096-234-2447(内線324)